

長瀬川（旧大和川）を歩くー2 / 弥刀駅から第二寝屋川合流点まで

前回は大和川付替え地点（築留地区）から長瀬川（一部は平野川、玉串川）沿いに八尾の安中新田会所跡地を経て久宝寺寺内町・顕証寺を拝観しました。今回は長瀬川沿いに、さらに北上、第二寝屋川との合流点（放出）まで歩きます。

日 時 : 2016 年 5 月 26 日（木）

集 合 : 10 時 近鉄大阪線弥刀駅改札口

弥刀（みと）駅は地上駅で、上下線の改札口は別です。鶴橋方面からの場合、降車ホームの改札口の外で集合してください

持ち物 : 飲物、観察用具、雨具、（弁当不要）

昼食はレストラン利用（かごの屋に席予約済）（料金は個人負担）

雨天判断 : 雨天決行

行 程 : 近鉄弥刀駅 10:00 出発⇒ 金岡公園⇒ 長瀬神社参拝（10:30～11:00）
⇒ 樟蔭学園樟徳館（帝国キネマ跡）⇒ 昼食（かごの屋 11:40～12:20）⇒
延命寺 ⇒ 小坂神社 ⇒ 司馬遼太郎記念館入館（13:10～14:20）⇒ 近
鉄八戸ノ里駅乗車 14:39 → JR 河内永和駅乗換 14:47 → JR 放出駅下車
14:52 ⇒ 阿遅速雄神社 ⇒ 長瀬川と第二寝屋川合流点確認 ⇒ JR 放出
駅で解散 徒歩約 6km の行程

○長瀬神社：大正元年に長瀬村の神社を合祀。宮司さんから説明していただきます

○樟蔭学園樟徳館（帝国キネマ跡）：昭和 3 年長瀬撮影所開設（東洋のハリウッド）。

昭和 5 年火災で京都太秦撮影所に移転。帝国キネマ跡に樟蔭学園の創立者森平蔵が私邸として建築。（近代和風邸宅建築で、国の登録有形文化財に指定されている）（残念ながら公開されていませんので外から見ただけです）

○延命寺：寛文 2 年京都法然院 2 世忍微上人が石清水八幡宮の境内に一堂を建て丈六の地藏菩薩を安置したのに始まる。一時、平安城南の昌玉院に還された後、大阪難波新地に移転（現在の高島屋の位置）、延命寺と改め、1924 年に南海電鉄の難波進出により現在地に移転。本尊の「阿弥陀如来」は藤原時代の作。丈六の「地藏尊」は鎌倉時代後期から室町時代の作と伝わる。両仏像は大阪府有形文化財に指定されている。ジンバブエ石の仏足石あり。

○阿遅速雄（あちはやお）神社：延喜式に記されている式内社、旧社格は郷社。大阪府指定の天然記念物の大クス（樹齢千年？）。草薙の剣盗難事件の伝説。お蔭灯籠。

○第二寝屋川との合流点：恩智川と玉串川が合流して流れてきた第二寝屋川に、長瀬川が放出で合流する